

Title	一八四四年以前の米國制黨史
Sub Title	
Author	恒松, 安夫(Tsunematsu Yasuo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1926
Jtitle	史学 Vol.5, No.2 (1926. 5) ,p.123(277)- 140(294)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19260500-0123

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

一八四四年以前の米國政黨史

米國政黨史の第二期即ち成立時代に次ぐ發達時代は一八四四年以後南北戰爭に至るまでの時代である。一八〇〇年の大統領選舉に際して共和黨が勝利を獲たことは、同黨の勢力を扶植せしむる素因となつた。而して反對黨たる聯邦黨は次第に政治上の根據を覆され、日を逐ふて衰運に傾くのみであつた。恰も一八一二年の對英戰爭はこれに反對を唱へた聯邦黨に對して滅亡の宣告を與ふるものとなつた。元來親英派であつた聯邦黨が英國との戰爭に反對を唱へたことは、寧ろ當然の様に思はれるが、然も反對説は輿論と合致せず、聯邦黨は全く民心を失つてしまつた。同黨の領袖等が民心を洞察するの明に缺けてゐたことは、同黨に取

つて一の不幸であつた。加之、一八一四年のハートフォードの大會は多數の幹部の失望を購ひ、同黨の陰影は彌々薄くなつて行つた。一八一六年の大統領選舉には、聯邦黨に屬する三十四名の選舉人がルフスキングに投票したが、それは頻死の病人の最後の呼吸に等しきものであつた。斯して一世の英傑アレキサンダー、ハミルトン(Alexander Hamilton)の手になれる聯邦黨は果なき最後を遂げてしまつた。

一八二〇年にはモンロー(Monroe)とトンプキンス(Tompkins)とが正副大統領に當選した。この時代は共和黨の全盛時代で各政黨が結合して一黨をなしてゐたため、世人はこの時代を「圓滿時代」

(Era of good feeling)と呼んでゐるが、それは單に表面のみのことであつて、内訌と迄は行かないにしても一種不穩の形勢が存在した。各選舉人は各自の好む領袖を中心として團結し、大統領に推さんがための努力を拂つた。即ち其處にはヂャクソン (Jackson) 派あり、クレイ (Clay) 派あり、カルハウン (Calhoun) 派あり、アダムス (Adams) 派あり、クリントン (Clinton) 派があつた。とは云へ此等の各領袖連は一八二四年並に一八二八年の兩度の選舉當時は同一の政黨に屬してゐた。全勢力を掌握してゐる一政黨の存在の下に行はれる選舉に於て多くの場合候補者の人物が最重要なる要素となる事は言を俟たない事實である。モンローの人物は容易に競争者を沈黙せしめたが、彼の退官後の一八二四年の大統領選舉は共和黨の領袖六名——アダムス、ヂャクソン、クレイ、クロイフォード、クリントン、カルハウン——が互に立

つて中原の鹿を争つた。斯の如く六名の競争者が齊しく共和黨に屬してゐたことは、其結果が如何に終らうとも、反對黨のために敗られたのよりは遙かに共和黨に取つて有利であつたには相違ないが、然も一個の政黨が同程度の勢力を有する競争者を多數有する事は其政黨に取つて決して有利な結果を生まなかつた。何故なれば競争そのものが決して圓滿を伴ふものではないからである。果せる哉一八二四年の選舉後間もなく共和黨内には主義と政策とを異にせる二派が生じた。當時共和黨は三個の對内問題に面接してゐた。即ちそれは銀行問題と關稅問題と内地開發の問題であつて、銀行家は國家が有力なる銀行法と通貨取締法とを制定せんことを希望し、新興の産業會社は保護關稅によつて國家が彼等の事業を保護せんことを希望し、商事會社は國家が良好なる道路を築き、河川港灣を改善し、州間の通商を援助せんことを希望

した。一八二四年の選挙に當選したアダムスは最初の教書に於て、右の三問題に對して國家が充分なる援助を與えんことを力説した。彼の此の主張は、生粹の共和黨員の主義と決して一致し得ぬものであつた。此より先きアダムスはクレイを國務卿に任じて、彼との提携を強固にした。この提携に極力反對したものは、チャクソンとカルハウンとの提携であつた。而してクロイフォードが健康を害して再度立つ能はざるに至つて、彼の一味の首領となつた者はヴァン・ブーレン (Van Buren) であつた。ヴァン・ブーレンの去就は共和黨自身に取つて問題であつて、彼がアダムスに向ふことは共和黨在來の主義と相反する主義を有力ならしむることとなるのであつた。而も事實ヴァン・ブーレンはアダムス派に對して少なからず心を惹かれてゐたが、彼がアダムスと行動を共にすることには彼の出身州以外に於ける人望を失ふことになる

ので彼は終にチャクソン派に加ふことゝなつた。國家權力の活動を重要となす説は、舊聯邦黨の主義と一致し、舊聯邦黨は員多くアダムス派に加つた。このアダムス派を國家主義共和黨 (National Republican) と稱し、チャクソン派を民主共和黨 (Democratic Republican) と稱する様になつた。民主共和黨は可及的國家權力に制限を加へ、國內問題は可成地方自治政府の支配に委ぬべきであるといふ主義を標榜した。この地方分權主義はデエファソン以來共和黨の傳統的黨是であつた。一八二四年の大統領選挙に於てアダムス派のために敗られたるチャクソン派は、次期の選挙までアダムスに對する民心を轉換せんがために、百方努力し、一八二八年の選挙に於て激甚なる競争の後、前回の怨を雪辱することを得た。從來の大統領が悉く新英州と南部との貴族出身者なるに比して、チャクソンが西部國境地帯の出身者たること

は顯著なる事實であつて、この事は舊型貴族主義的傳統より外脱し得なかつた政界に一新紀元を加ふることとなつた。家系、生活習慣等に關して彼とゼエフアーツンとの間に存したる相違は、自から此の兩者の政治上の主義にも影響を及ぼしてゐると見られる。民主主義に對する兩者の根本思想に於ては同一であつたにしても目的に達するため

の道程に於ては相去る所があつた様に思はれる。國力が漸時西方に延びやうとしつゝあつた當時、所謂國境地方への移民即ち新興分子の擡頭は政界に新なる勢力を扶植する素因となつた。身を卑賤より起したチャクソンの民主主義は、最もよく無産者階級を代表したものであつた。斯の如き人物が大統領に當選し、斯の如き人物の統率する政黨が勢力を占むるに至つた所以は自から明である。

一方アダムスは一八二五年より一八二九年に至るまで、表面上國家主義共和黨の首領となつてゐた

が、元來彼は口舌の才と政治的手腕に乏しく、且つ人に對する好惡の念に強くして到底一黨の首領としての器ではなく、加之彼は新英州の舊聯邦黨員と衝突を惹起したため、益々人心を失墜し、黨の實權は終に彼の手からクレイの手に移り、アダムスは獨り孤城に立て籠ることになつた。

チャクソンが大統領に就任するや、選舉當時彼のために努力した彼の黨員は、猛烈なる獵官運動を起し、チャクソン自身も彼等の功勞に報ゆる手段として彼等の要求に應じ、就任後一年間に二千人以上の官吏を免職してその位置を造つた。チャクソンのために任命せられたる此等の官吏は、多く無能無經驗の素人であつた。大統領の老朽淘汰といふ表面上の理由を裏書きするに足る効果は決して此の交迭によつて實現されなかつたのみならず、大統領が交迭する毎に黨人を官職に就かしめ私慾のために公職を利用するといふ一大弊風を後

世に遺すこととなつた。

チャクソンは議會を通過した内地開發案を一八三〇年五月二十七日否認してしまつた。彼が此を行つた理由は、モンローが一八二二年に同様な議案を否認したと同様な理由であつて、道路の敷設運河の開鑿等の如き地方的利益の存する問題は、國家の力を藉りることなく、地方自身に於てなすべきであるといふにあつた。然るに副大統領カルハウンは一八一六年當時は内地開發委員會の委員長の職に在つて、新に設立せられたる國立銀行の年末賞與金中より道路竝に運河の建設費として百五十萬弗を控除すべしといふ建議案を議會に提出してマヂソン(Madison)の否認に遇つたことがあつて、謂ば内地開發の主唱者であつた。其故カルハウンはチャクソンの否認を快からず思ふのは當然であつた。此より先きチャクソンは屢々カルハウンの友情に對して疑念を挟み始めてゐた。加ふ

るに民主共和黨内にカルハウンを味方する多數の分子が存在し、一八二八年の選舉に際しても此等の分子はチャクソンの運動に多大の障害となつた。此等の事柄は兩者の疎隔を促す原因となつた。が遇々イートン(Eaton)夫人の事件は兩者の關係を益々險惡に導た。

註　チャクソンの閣員たる軍務長官イートンは一八二九年一月一日結婚式を擧げた。新夫人はワシントンの酒屋の娘で、結婚前に兎角の風評が絶へなかつた人物であつた。それがためカルハウンは夫人がその首領となつて他の閣員の夫人達はイートン夫人との交際を避け、彼女を輕蔑した。然るに大統領は飽く迄夫人の清淨なることを辯護し、終に事態は政治化して大統領とカルハウンの反目を來たすに至つたのである。

チャクソンはカールハウンを疎外するにつれて國務卿ヴァンブレンに對する信頼を高め、斯くして漸く民主共和黨の内に分裂の兆を萌すに至つた。此の間に於てチャクソンの官吏更迭を非難す

る者、議會の内地開發案に對する彼の態度に嫌厭たるもの、彼の銀行問題に對する態度に不滿を抱けるもの、首領としてのチャクソンを嫌惡せる多數の者等はクレイを首領とする國民共和黨の旗下に集つた。

一方に於ては第三黨組織の機運が生じつゝあつた。一八二六年紐育州のウィリアム・モルガン (William Morgan) が突然行方不明になつた。彼は共濟組合の反對者で、書物を著して組合の秘密を摘發したため、多くの人は組合員が彼を暗殺したものと思惟した。其故組合の不法行爲に對する猛烈なる反對運動が紐育州並に其隣接地方に起り、斯して共濟組合反對黨なるものが産るゝに至つた。一八二八年の大統領選舉に際して、此黨はチャクソンが組合員なる故を以つてアダムスを援助し、此の機會に他の數州に於ても此黨の組織を見、概してチャクソンに反對の態度を採り、國會

議員の選舉に際して數名の議員を選出することを得た。

一八三二年の選舉が近づくに従つて、組合反對黨をしてクレイを援助せしめんとする運動が行はれたが、クレイが同黨の主張に對して冷淡であつたがために、同黨は獨立行動を採るに決し、百四十名の代表者は一八三〇年九月フヒラデルフヒアに全國大會を開催して全國的に一政黨を組織するに決した。この集會は國民に飛檄して一八三一年九月二十六日ボルチモアに大會を召集し、十州一屬領の代議員百十三人を會してメリーランド州のウィリアム・ウイルト William Wirt ペンシルヴェニア州のアモス・エルメーカー Amos Ellmaker を正副大統領候補者に推した。これが米國に於ける全國豫選大會の濫觴である。民主共和黨はこれに倣ふて、同年十二月十二日ボルチモアに全國豫選會を開き、十八州の代議員百六十七人が出席し

て、滿場一致を以つてクレイとペンシルヴェニア州のジョン・サージヤント John Sergeant を正副大統領候補者にあげ、次いでこの大會の決議に従つて、國家主義共和黨青年大會を翌年五月七日ワシントンに開催し、黨の主義方針を闡明するため十ヶ條の決議を可決した。これぞ全國大會の最初の綱領である。その重要なる點は保護關稅と内地開發の施行を支持し、高等法院並に上院の權力を完全に維持せんことを主張し、且つ無定見なる官吏の交迭を以つて權力の濫用であると非難し、北東の境界線問題と對西部印度人通商問題に關して採れる政府の措置を叱責した點であつた。この綱領は國民民主黨の綱領に相似たる點多く、ために世間一般にこの政黨を民主黨と呼ぶ傾向を生じた。されど黨員中に曾つて民主共和黨員たりし者のために人氣ある名稱を專斷せらるゝを嫌ふものが多數あり、且つ民主黨なる名稱は民主共和黨に

對してより多く密接なる關係を有してゐた。國民共和黨なる名稱がホイッグ黨なる名稱に變じたのは一八三四年頃であつて、此の當時世人はジャクソンに反對する總ゆる政治的分子をホイッグと呼んでゐた。「ホイッグ」なる名稱は革命當時の感情と愛國心とを喚起し、「ホイッグ」派に屬する人々は自ら一七七六年代の人々の眞の後繼者であると稱した。ホイッグ黨は行政部が立法司法兩部の權能を無視して越權の行動を採ることに極力反對し、飽くまで三權分立主義の確立を主張した。

一方民主共和黨は一八三一年六月政府擁護の決議を可決し、且つ、翌年五月ボルチモアに大會を開催せんことを決定した。五月二十一日ミズリ州を除ける全國各州より三百二十六人の代表者がボルチモアに參集し、ジャクソンの再選を決議した。而して愛黨家等は民望なく殊にペンシルヴェニア州に於て不人望であつたヴァン・ブレンを快

く副大統領候補者に擧ぐること賛成した。この大會は投票によつて採決するに當り著名なる「三分の二制」を採用し、チャクソンとヴァン・ブーレンとが各々正副大統領候補者に推された。斯の如くして各政黨が各々全國豫選會を開いて大統領を選定する方法は、憲法上の一個の慣例となつた。

この方法にしてその眞生命を長く保持し得たりしならば、民主政治の理想に適ふ最良の方法となり得たであらうが、一度この方法にして悪用せられんかそは最も甚しき弊害を産む機關となるのである。手腕に富み氣骨稜々たる人物が、兎角大統領として失敗を招き、所謂政商の傀儡に過ぎざるが如き凡手が大統領として成功する珍現象を屢々米國に於て見るは、この豫選會が産める弊害の一に外ならないのである。

斯して選ばれたる各候補者は一八三二年の選舉に於て激烈なる競争を演じた。民主共和黨の候補

者チャクソンは概して國民の間に人氣を有し、彼は國債を償還し銀行の特權を剝奪し國幣を費して道路竝に運河を建設せんとする一部の人々の奸計に對して、國庫を保護する人物であると期待されてゐた。而して、國民共和黨の候補者クレイは、銀行關係の實業家と保護關稅論者との後援を受け、加ふるにチャクソン派の急進分子に對しても密に提携する所があつた。投票の結果、チャクソンは二百十九票、クレイは四十九票、ウィルトは七票を得て、チャクソンが大統領に當選し、副大統領にはヴァン・ブーレンが當選した。チャクソンは再選によつて、彼の政策に對する國民の保證を得た理であつて、これが實行に益々努力することゝなつた。

一八三四年正式にホイッグ黨なる名稱を採用せし舊國家主義共和黨は、謂はゞ、チャクソンに反對を唱ふる各分子の寄合所帯に等しきものであつ

た。これを大別すれば次の五分子になる。即ち
(一)クレイとアダムスを主領としてアメリカ的組織 (American system) —— 關稅と内地開發事業とを國家自ら行ひ、「國家の管理する國立銀行を設立すべきこと」——を主張せる舊國家主義共和黨員
(二)南カロライナ州に對するチャクソンの政策を憤れる無效論者と、極端なる州權論者としてあつたこの派に屬する人々にはカールハウジに南カロライナ州の州民、その他ジョン・タイラー並に舊ヴァージニア學派の代表者等があつた。(三)「共濟組合反對」派の大部分。(四)チャクソンの高壓的態度に嫌厭たる者(五)チャクソンに對し個人的に反感を抱ける者等であつた。其故此等の烏合の衆によつて組織せられたる政黨は當初強固なる基礎を有しなかつた。舊國家主義共和黨員と極端なる州權論者との如く、互に相距つること遠き主義を抱ける二分子が結合したのを見ても、ホイッグ黨が

如何に一定の主義と調和せる目的とを缺如してゐたかを想像するに難くない。されど強ひてホイッグ黨の表面的主義を探求するならば、國家主義共和黨より繼承せしアメリカ的組織あるのみにして、同黨を構成せし各分子を給合すべき唯一の絆は、反チャクソン反ヴァン・ブレンなる一致せる目的に外ならなかつた。其故この共同の目的を達成せし後のホイッグ黨は、分裂か瓦解の二途何れかを選ばねばならなかつた。

反對黨より「國王アンドリュー」と迄罵られたる民主共和黨唯一の羈者チャクソンは、二期に亘つて大統領の職に在り、一八三六年の選舉にはワシントン以降神聖なる不文律として遵守せられ來つた傳統に従つて、自黨の推薦を拒絶し、彼の股口の部下たるヴァン・ブレンの推薦を要求した。民主共和黨内には決してヴァン・ブレンを歓迎するものゝみは居なかつた。否國民の間に最も不評判なる

ヴァン・ブーレンに對して心服してゐるものは殆どなかつた。それにも拘らず、一八三六年五月ボルチモアに於て開かれたる民主共和黨の全國大會は、彼を大統領候補者に推薦し、リチャード・ジョンソン大佐を副大統領候補者に推薦した。ヴァン・ブーレンの推舉は決して黨の意志より出たるには非ずして、全然チャクソンの意志に依れるものであつた。この事實に徴しても、吾人は如何にチャクソンが民主共和黨内に於て絶大なる勢力を有したりしかを識り得るのである。この大會は何等の綱領をも發表しなかつたが、事實新なる綱領を掲げて民心を喚起すべき必要は毫も存しなかつた。何故ならばチャクソンの旗色鮮明なる政策そのものが、民主共和黨の綱領であつた。それは餘りによく知られてゐたからである。ヴァン・ブーレンは黨首としての威嚴を缺き且つ國內各方面に於て著しく不人望であつたがために、國家的重要問題に

對する黨の態度如何は黨の運命に直接重大なる影響を及ぼす所であつたが、幸にしてチャクソンの政策は多くの支持者を造つてゐた。

一方ホイッグ黨は全國大會を開催し得なかつた。その原因はチャクソン反對派中に、未だ政黨政治組織に反對する者が多數あつたゝめにもよるが、更に重大なる原因はホイッグ黨に充分なる結束が存しなかつたゝめでもある。舊國家主義共和黨員は、國境地方に人氣あるウイリアム・ヘンリー・ハリソン(William Henry Harrison)將軍を推した。この推薦は東部の黨員の不滿を購ひ、マサチューセツツ州に於てダニエル・ウエブスター(Daniel Webster)がハリソンの代りに推薦された。當時未だ地方に於て多少の勢力を占めてゐた共濟組合反對黨は、一八三五年十二月十六日ハリスブルグに大會を開いてハリソン將軍を大統領候補者に、紐育州のフランシス・グランガーを副大統領候補者に

推した。ハリソンとウェブスターとが北部諸州に於て得た國民投票の總點數は一八三二年にクレイトとウィルトとが得た總點數よりも遙に多數であつた。一方ポトマック以南の十一州中九州はテネッシー州の判事ホワイト(White)とヴァージニア州のジョン・タイラー(John Tyler)を正副大統領候補者に推した。此の兩名を推した團體は一八三二年の選舉以來次第にチャクソンの後援を中止し來つた人々の團體であつて、その或る者は國法拒絶に對するチャクソンの宣言を以つて州の權利を侵害するものであると思惟して民主共和黨を脱退したもので、他の或る者はヴァン・ブレンがチャクソンに代るに及んで脱黨したものであつた。而して國立銀行問題に對するチャクソンの態度に對して不安を抱き、ベントンの硬貨政策に反對を唱へ、正確なる脱換能力を有する紙幣の發行を希望してゐた富祐なる移民階級もこの中に加つてゐた。ホワ

イトを推した此等南部の保守的富祐階級は過去の傳統そのまゝを遵奉せんとする者であつた。彼等は獵官制度と政治組織とによつて穢辱せられた政黨と絶縁して安堵した連中であつた。一八三二年の選舉當時共濟組合反對派より可成り矚目せられたオハイオ州の判事ジョン・マククリーン(John Mclean)は、今回の選舉に際してオハイオ州の立法府より大統領候補者に推薦された。斯の如くホイッグ黨は西部南部新英州の三部が夫々相異なる候補者を立て、民主共和黨に對抗しやふと計つた。ホイッグ黨のこの作戰を以つて地方的名望家を擁立して部分的に敵黨の得票を減じ、總得點數に於て敵黨に勝たんとするものであると見る人があるが、ホイッグ黨に果してそれだけの作戰を實行し得るだけの結果があつたか否かは疑問である、選舉の結果はホイッグ黨の豫期に反し、一七〇票に對する一二四票の差を以つて民主共和黨の候補者ウ

アン・ブーレンが大統領に當選した。されど副大統領は民主共和黨のジョンソンが一四七票を得、反對黨の總得點も此と同點であつたため、これが選舉は上院の手に移り、十三に對する三十三票でジョンソンが當選した。斯して民主共和黨は依然として政權を掌握することを得た。

アン・ブーレン在職中の最も重要な事件は、一八三七年の財界の恐慌であつた。この恐慌の對策として彼は支金庫を設け、各收入役、郵便局長收稅吏等をして支拂命令が下るまで政府の金を彼等の手元に保管せしめんとする案を議會に提出した。これに對してホイッグ黨は新銀行の設立を希望し、支金庫の設置に反對の投票をなした。然も政府黨なる民主黨はこれに對して賛否の二説を生じ、この議案は一八三七年九月の臨時議會と同年年十二月の通常議會に於て兩度否決されたが、三回目に漸く議會を通過し、一八四〇年六月四日公布

された。

この支金庫案が議會を通過せぬ以前に既に一八四〇年の選舉競争が始まつてゐた。アン・ブーレンの支金庫問題は國民の間に激甚なる不評を醸し、加ふるに文官官衙の腐敗に對する全責任は彼が創始者と見做されたる獵官制度に歸された。然も彼の外交は充分なる成功を納めしにも拘らず、南北兩部の野心家の満足を購ふに足らず、且つ彼の旗色不鮮明なる態度は多數國民の敬愛を失した。斯の如く國民の不信不詳を一身に集めて居たにも拘らず、彼はよく術策を弄して黨の幹部を懐柔せしため一八四〇年五月ボルチモアに開催せられたる民主黨の全國大會は、彼を大統領候補者に再選し副大統領候補者はこれを各地方の推薦に委ねた。

敵黨候補者に對する國民の不人望はホイッグ黨にして充分なる結束を保ち得たりせば多年の鬱屈

を晴すべき絶好の機會たるに相違なかつた。ヘンリー・クレイはホイッグ黨全國大會の推薦を熱望し、多年の政治的功勞に對する報酬を得べき時期到來せりと考へた。されど彼の過去は將來の成功を保證し難いものであつた。彼は共濟組合員であつて、且つ奴隸制度廢止論者に反對の言辭を弄し加ふるに既に大統領選舉に於て二度の失敗を重ねてゐた。三九年十二月四日ハリスブルグに於て開かれたるホイッグ黨全國大會の多數はクレイに好意を寄せてゐたが、紐育州の代表者は同州の狡猾なる策士シユルロー・ウイード(Thurlow Weed)の説に従つてスコット將軍 General Scott に投票した。この兩候補者中に介在して有力なりしはハリソン將軍であつた、數回の投票の後終に紐育州の代表者がハリソンに投票せしめたためハリソンはホイッグ黨の大統領候補者に當選した。而してヴァージニア州のデヨン・タイラー(會つて民主黨員たりしもデ

ヤクソンの專制を憤りて脱黨す)が副大統領候補者に推されし所以は、前回にホワイトを推した連中の鼻息を伺ふための意味が含まれて居り萬一ホイッグ黨の勝利に歸してタイラーが副大統領に當選するも副大統領は行政部に參與し得ざる故、彼の當選はホイッグ黨に取つて何等の障害にならぬ筈であつたが、不幸にして切角當選したハリソン大統領は就任後一ヶ月にして死去し、ホイッグ黨に對して政治上何等の同情を有せざるタイラーが大統領に就任することゝなつた。四〇年の大統領選舉競争中ホイッグ黨の新聞紙や辯士等が國民に約束せし事柄は、ハリソンの短期間の在職中一として實現しなかつた。勞働者の給料は増加せず、不景氣は益々募り、通貨は依然として亂脈の状態を續け、諸工場の開鎖は續出し、租税は依然として高率であつた。其故國民は甚く失望し、且つホイッグ黨の無能を憤慨した。然も今やホイッグ黨の大

統領は死去し、新大統領も其閣員も悉くホイッグ
黨の味方ではなかつた。事態斯の如くにして何ん
ぞホイッグ黨は依然として政權を固執し得んや。

四一年に行はれたる國會議員其他地方官吏選舉の
結果は、將にホイッグ黨の稠落を示した。此の選
舉に於て重要なる十五州がホイッグ黨に投じたる
總投票數は四〇年の選舉にホイッグ黨の得たる國
民投票の總數に足らざること二十萬であつたが、
然もホイッグ黨が失ひたる此等二十萬の投票は決
して悉く民主黨に投ぜられたるには非ずして、同
黨の得票は何處に於ても左程増加せず、處により
ては却つて減少したる所もあつた。

ホイッグ黨の實權を掌握してゐた老練なる政治
家クレイはハリソンをもタイラーをも共に蔑視
し、四〇年の選舉に際して當然豫期してゐた推薦
をハリソンのために奪れて、心中大いに穩かなら
ずホイッグ黨に對する謀叛の志を抱いてゐた。加

ふるに彼は黨内に於て最大多數の味方を擁してゐ
た。クレイに比して勢力人物共に稍々劣ると雖も
蔑り難き勢力を有せしものはウエブスターであつ
た。クレイはハリソンの下に國務卿に就任せんこ
とを勸説せられてこれを拒絶せしため、ウエブス
ターがこれに就任した。若しもタイラーにして議
會に多數を占めしクレイ派と共調を保たんことに
努めしならば、彼の任期は何等の風波なく完ふせ
られたであらう。されどこの兩者の關係は終に破
裂の他なかつた。そはクレイがタイラーとの妥協
を嫌ひしためにして、彼は自ら上院内の自黨を
指揮して支金庫の廢止、銀行の設立、内地開發案
の實施保護關稅の施行等に關する議案を提出し
た。タイラーがクレイとの正面衝突を惹起したる
は銀行設立の問題に關してであつて彼は支金庫の
廢止には讚成せしも、銀行の設立には反對した。
銀行案が大統領の否認を受けしは四一年九月九日

にして、それより二日を経て國務卿ウェブスターを除く全閣員は辭職し、同時にタイラーの非政を難詰せる聲明書を發表した。此の機に乗じてクレイは自黨員と政府との關係を能ふ限り疎隔せんがためにホイッグ黨幹部の協議會を開いて、「ホイッグ黨とデヨン・タイラーとの總ゆる政治的關係が斷絶せし」旨を宣言した。

タイラー在職中の問題にして今一つ重大にして、且つ次回の大統領選舉に際して重要なる問題となり、引ひてはホイッグ黨分裂の誘因となりしものはテキサス件併問題であつた。一八四四年四月十二日合衆國とテキサス政府とは合併條約の調印を行ひ、この條約が批詢を受くるために上院に提出せらるゝ迄は絶對祕密に附されてゐたが、何時の間にか世間一般はこの問題の經過を知悉し、南北兩部は互に賛否の兩説を固執して激烈なる論争を開始した。斯の如くこの問題が社會の大問題

となれる以上勢ひ政治問題とならざるを得ざるに至つた。上院が條約の批詢を拒絶する以前に於て既に四四年に行はるべき大統領選舉競争が始まつてゐた。其故政黨の候補者はこの問題に關して何等かの意見を發表すべき必要に迫られた。この問題が選舉問題の中に織込まれたるため各黨の候補者は最も苦るしき立場に置かるゝことゝなつた。何故ならば反對を唱ふれば南部の同情を失ひ、賛成を唱ふれば北部の後援を失ふがためであつた。民主黨の首領ヴァン・ブレンもホイッグ黨の首領クレイも齊しく聲明書を發表して、テキサス州の兼併に反對を唱へた。然るに民主黨の元老チャクソンはテネッシー州の代議士アロン・ツイ・ブラウンに宛てたる四三年二月十二日附の書簡に於てテキサスに於ける英國の勢力の恐るべきことを説き、勿々合併の必要なることを主張した。チャクソンのこの書簡が新聞紙に發表せられて大打撃を

蒙りたるものはヴァン・ブーレンであつたが、彼は飽くまで合併反對説を翻さなかつた。民主黨の全國大會が四四年五月二十七日ボルチモアに開かれたる時、大多數の代表者はヴァン・ブーレンを推薦すべしとの各州豫選會の命令を受けてゐたが、彼等は殆ど悉くヴァン・ブーレンの推薦を嫌つてゐた。其故彼を撃退せんがために採用したる第一の手段は「三分の二制」であつて、これによつて行はれたる最初の投票の結果はヴァン・ブーレン一四六キヤツス(〇票)八三カールハウン六であつて爾餘の三十一票は他の四名に分かれたれヴァン・ブーレンは幸じて過半数を得た。而してこの投票の結果は當時米國の政治に顯現しつゝあつた地方中心主義的傾向を、特に明示するものであつた。第二回目の投票に於てヴァン・ブーレンの得點は半数に下り、第五回目には半数以下に減じ、キヤツスの得點は増加して一〇七となり、ブーレンは一〇三と

なつた。而して第八回目の投票に於て、テネツシ州のデエームス・ケー・ポルク(James K. Polk)が四四票を得、第九回目にはブーレンの名は控除せられて、ポルクが満場一致を以つて民主黨の候補者に當選した。次に副大統領候補者として大會は殆ど満場一致を以て、紐育州のサイラス・ライト(Silas Wright)を推薦したが、彼が斷然推薦を拒絶せしため、ペンシルヴエニア州のデョーデ・エム・デラリス(George M. Dallas)が當選した。今日の民主黨全國大會が決議せし綱領は、前回の綱領に更に三ヶ條を添加せるものであつた。即ちその三ヶ條とは(一)國有地より上る利益の配當は不當違憲であるとし(二)國立銀行の横暴なる勢力に對して國民を充分保護せんとする大統領の否認權に對して制限を加ふることに反對し(四)オレゴンの全土は當然合衆國の所有に歸すべきものであつて、その幾分部たりとも英國に讓與すべからざ

ること、且つテキサスの兼併も亦合衆國の大方針であると言張せるものであつた。

一方四四年五月一日ボルチモアに開かれたるホイッグ黨の全國大會は、満場一致を以つてクレイトとセオドア・フレリソングイセン (Theodore Frelinghuysen) とを正副大統領に推薦し、四ヶ條の綱領を決議した。その三ヶ條は政府の非難であつて他の一ヶ條はホイッグ黨の方針を極めて簡単に述べしものであつた。而して國立銀行問題とテキサス問題に關しては一言も言及する所がなかつた。

この競舉競争に際して注目すべきは第三黨の發生であつて奴隸制度に對する強抗なる反對者よりなれる自由黨なる一團が、四三年八月バツファロに全國大會を開催して大統領候補者を推薦した。この黨員は比較的僅少ではあつたが、然もホイッグ、民主兩黨の勢力の均衡を保たしむるに足るものであつた。この黨はミシガン州のデエーム

ス・ジョー・バアネーとオハイオ州のトーマス・モリス (Thomas Morris) とを各正副大統領に推薦し、長文の綱領を採用したが歸する所は奴隸廢止の一點であつた。されど當時未だテキサスの合併が果して實現し得るや否や不明なりしたため、同黨はテキサス問題には言及せずして單に奴隸地方の擴張を計らんとする政策を難非するに止まつた。

斯して四四年の選舉競争には三二年以來始めて三黨の候補者が互に立つて中原の鹿を争ふことゝなつた。されど茲に一の挿話がある。それは所謂「タイラーの大會」として知られてゐるものである。この大會は民主黨の大會と時を同くして同じ市に開かれ殆ど各州の代表者が參集したが其等の代表者は一定の組織的團體の投票によつて選ばれたるものではなかつた。反對黨員は其等の代表者が悉く官吏であると攻撃したが、これは確乎たる根據ある説ではなかつた。大會はタイラーを候補

者に推薦し、合併の遂行を期せる綱領を可決したが、タイラーは合併派の多數が彼に従はざるを見て、八月二十日競争場裡より斷然退いてしまつた。彼が此の舉に出し理由を察するに、彼には競争場裡に於て後援をたのむべき政黨がなかつたことである。而して自己の政黨を組織せんとするも彼には民主黨員間に人望なく、加ふるに民主黨大會は「合併」を綱領の一項に加へたるが故に、尙更民主黨内の合併派は彼の下に走るの必要がなかつた。一方ホイッグ黨は彼との絶縁を宣言してゐたが故に、彼は此の方面に於ても身方を得ることが出来なかつた。斯して彼は政界に於て孤獨の境地に陥り、失意の人となつた。

選舉の結果は民主黨の勝利に歸しポルクが大統領に當選した。ホイッグ黨の負因は一にテキサス問題に對してクレイが反對を唱へたるため、南部の投票を失ひしに依るのである。テキサス問題換

言すれば奴隸問題は斯してホイッグ黨の分裂の誘因となつた。而して奴隸問題は終に南北戦争が起るに至るまでは年毎に益々政界の波瀾を増大し行くのみであつた。

恒 松 安 夫